

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.1

① 補助事業名	小平市民まつり実行委員会補助 市民まつり事業	② 団体名	小平市民まつり実行委員会
③ 主管部課	市民生活部地域文化課	④ 補助開始年	昭和 51 年
⑤ 経過年数	32 年	⑥ 団体の構成 員数	約 140 名
⑦ 補助団体の 活動内容	小平市民まつりに参加する約 140 団体によって構成される団体。 10 月第 3 週目の日曜日に行われる小平市民まつりの運営を行っている。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	一般事業費補助（報償費、需用費、役務費、委託料、雑費）		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
	内訳	本市補助金額B	6,200,000	6,200,000
		（うち国・都 等特定財源合 計）C		
		その他財源D	800,000	514,409
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A	88.6%	92.3%
		歳入決算（見込み）繰越 金 F	100,000	284,068
		繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	1.6%	4.6%
		積立金現在高 H		284,069

今後の方向性 （主管部課意見）	市民と協働して行っている事業であり、今後も継続して補助が必要である。
--------------------	------------------------------------

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.2

① 補助事業名	小平市国際交流事業	② 団体名	小平市国際交流協会
③ 主管部課	地域文化課	④ 補助開始年	平成 2 年
⑤ 経過年数	18 年	⑥ 団体の構成員数	役員 14 名、評議員 17 名、職員 4 名
⑦ 補助団体の活動内容	小平市国際交流協会は、市民の方たちが中心となって地域における国際交流の推進と外国との交流の促進の活動拠点として、設立された市民組織である。主な活動としては、(1)国際理解と国際親善の普及(2)地域における友好交流(3)地域や日本文化、外国都市や外国文化の紹介(4)国際交流情報の収集と地域への提供である。		
⑧ 補助事業の内容と補助金の使途	1 事業費補助 2 管理運営費補助 ・人件費 ・管理費 ・事務室使用料補助		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算
歳出予算・決算額 A (B+D)		26,097,000	23,439,949
内訳	本市補助金額B	14,649,000	14,669,000
	(うち国・都等特定財源合計) C		
	その他財源D	11,448,000	8,770,949
補助金と事業費の割合 (%) E B/A		56.1%	62.6%
歳入決算(見込み)繰越金 F		2,109,000	2,197,344
繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		14.4%	15.0%
積立金現在高 H		4,500,000	4,500,000

<b>今後の方向性 (主管部課意見)</b>	市内には、68国、3959人の外国人が登録をしており、言語の問題や文化の違いから生じる外国人に対する生活上の行政支援に対する要望が増している。国も平成18年に地域における多文化共生推進プランを取りまとめ、外国人住民施策担当部局および国際交流協会が中心的な役割を担い、市民団体等との連携・協働をはかりながら、多文化共生の推進に関する指針を策定するよう求めている。 外国人に対する新たな行政支援の考え方として、行政だけの支援は取り組む範囲、業務量が膨大になるため非現実的であり、市民のボランティアが中心となって外国人に対する支援を国際交流協会が取り組むことが最良と考えている。これからも、外国人施策の取り組みと補助する内容が整合するよう指導する。
----------------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.3

① 補助事業名	文化振興財団補助	② 団体名	財団法人 小平市文化振興財団
③ 主管部課	地域文化課	④ 補助開始年	平成 5 年
⑤ 経過年数	15 年	⑥ 団体の構成 員数	理事 8 名、監事 2 名、評 議員 14 名、職員 13 名
⑦ 補助団体の 活動内容	主な活動内容として、市民の文化・芸術の振興に関する事業の企画・実施及び誘致。市民の自主的文化・芸術活動の育成及び助成。地域で培われた歴史的文化の継承。文化・芸術に関する情報提供等。市から受託する文化事業。市の文化施設の管理運営に関すること。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	1 運営費補助      2 事業費補助		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		①	歳出予算・決算額 A (B+D)	554,783,000
⑨ 財務 状 況	内 訳	本市補助金額B	95,483,000	99,410,000
		（うち国・都 等特定財源合 計）C		
		その他財源D	459,300,000	416,433,202
	補助金と事業費の割合 （%） E B/A		17.2%	19.3%
歳入決算（見込み）繰越 金 F			15,072,286	
繰越金と補助金の割合 （%） G F/B		0.0%	15.2%	
積立金現在高 H		608,572,120	608,572,120	

今後の方向性 （主管部課意見）	市では、平成19年に小平市の文化振興の基本方針の中で、小平市文化振興財団が小平市民文化会館と小平ふるさと村の指定管理者として文化施策の推進していくことを決めました。このことにより、平成21年度から、当該補助金は、指定管理料に組み替えを行い、市は指定管理者を指導していく立場となりますので、指定管理者制度の中で指導助言して参ります。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.4

① 補助事業名	自治会等防犯灯電気料補助	② 団体名	小平市防犯灯電気料管理組合
③ 主管部課	市民生活部地域文化課	④ 補助開始年	昭和 35 年
⑤ 経過年数	48 年	⑥ 団体の構成員数	約 500 名 (自治会数 374)
⑦ 補助団体の活動内容	自治会等が所有する防犯灯に対する小平市からの電気料補助金にかかる手続きを一括処理することにより、各自治会等の事務軽減を図る		
⑧ 補助事業の内容と補助金の使途	自治会等が所有する防犯灯について、西武多摩湖線の東側地区と西側地区それぞれ、定額電灯と従量電灯の 4 つの契約に分け、支払を行っている。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
	内訳	本市補助金額B	13,094,600	13,165,804
	(うち国・都等特定財源合計) C			
	その他財源D	0	92,543	
	補助金と事業費の割合 (%) E B/A	100.0%	99.3%	
	歳入決算(見込み)繰越金 F	0	0	
	繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	0.0%	0.0%	
	積立金現在高 H	0	0	

今後の方向性 (主管部課意見)	犯罪のない明るく住みよいまちづくりのためにも、防犯灯は必要なものである。市と自治会等との円滑な協力関係を推進するため、今後も継続して補助していく。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 乙（直接交付用）A

No.5

① 補助事業名	自治会等防犯灯設置費補助金（新設、建替）		
③ 主管部課	地域文化課	③ 補助開始年	昭和 51 年
⑤ 経過年数	32 年	⑤ 補助対象者数	約 500 名 （自治会数 374）
⑥ 補助事業の内容と補助金の使途	<p>（新設）自治会・町会・防犯灯管理組合において防犯上の観点より私道上に防犯灯を設置する場合に、要件を満たした場合20,000円を上限に補助を行う。</p> <p>（建替）防犯上の観点より自治会・町会・防犯灯管理組合が所有する私道上の防犯灯を劣化等により建替する場合に、要件を満たした場合15,000円を上限に補助を行う。</p>		

\*新設の例、1件あたり (単位 円)

		20年度予算	19年度決算
		補助対象経費 A (B+D+E)	30,000
補⑦ 助 対 象 の 事 業 人 に か か り	本市補助金額B	20,000	20,000
	(うち国・都等特定財源合計) C		
	内訳 本人負担D	10,000	6,460
	その他 E	0	0
	市負担率F B/A	66.7%	75.6%

今後の方向性 (主管部課意見)	市と自治会等との円滑な協力関係を推進する必要があるため、今後も継続して補助していく。
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 乙（直接交付用）A

No.6

① 補助事業名	自治会等掲示板設置費補助金		
③ 主管部課	地域文化課	③ 補助開始年	昭和 48 年
⑤ 経過年数	35 年	⑤ 補助対象者数	3 団体（自治会）
⑥ 補助事業の内容と補助金の使途	自治会・町会において掲示板を新設する場合、経費の 70%、13,000円を上限に補助を行う制度		

\* 1 件あたり （単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
⑦ ①の事業にかかる補助対象者一人当たり	補助対象経費 A (B+D+E)	30,000	28,117	
	内訳	本市補助金額B	13,000	13,000
		(うち国・都等特定財源合計) C		
		本人負担D	17,000	15,117
		その他 E	0	0
	市負担率F B/A	43.3%	46.2%	

今後の方向性 (主管部課意見)	市と自治会等との円滑な協力関係を推進する必要があるため、今後も継続して補助していく。
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 乙（直接交付用）A

No.7

① 補助事業名	防災関係団体の育成事業(自主防災組織)		
③ 主管部課	市民生活部 防災安全課	③ 補助開始年	昭和 59年
⑤ 経過年数	24年	⑤ 補助対象者数	1,300世帯
⑥ 補助事業の内容と補助金の使途	市内の自主防災組織に対し、補助金を交付することにより防災資器材の整備を促進するとともに、自主防災組織を育成し、災害時の被害の軽減を図る。使途としては、防災訓練時の消耗品や災害用トイレ、備蓄食料等の購入等がある。		

\* 1 団体の例

(単位 円)

		20年度予算	19年度決算	
補⑦ 助 対 象 ① の 事 業 一 人 に 当 た か り	補助対象経費 A (B+D+E)	474,000	330,435	
	内訳	本市補助金額B	95,000	95,000
		(うち国・都等特定財源合計)C		
		本人負担D	379,000	235,435
		その他 E		
	市負担率F B/A	20.0%	28.7%	

今後の方向性 (主管部課意見)	地域防災力の向上のためには、自主防災組織による活動は不可欠であり、今後も自主防災活動をバックアップしていくことで、地域における防災意識の高揚と防災対策の促進が図れるため、必要と認識している。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.8

① 補助事業名	小平防犯協会の補助 防犯対策事業	② 団体名	小平防犯協会
③ 主管部課	市民生活部 防災安全課	④ 補助開始年	昭和 45年
⑤ 経過年数	38年	⑥ 団体の 構成員数	1,700人
⑦ 補助団体の 活動内容	「小平地域安全のつどい」を始め、各種防犯啓発事業を地域で実施した。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	地域住民に対し、防犯思想の普及及び自警心の高揚を図り、犯罪を防止するために行う事業に要する経費について、その一部を補助する。補助金の使途は、「小平地域安全のつどい」等事業用消耗品の購入や、防犯啓発用グッズの購入等がある。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
内訳	本市補助金額B (うち国・都等特定財源合計) C その他財源D	1,300,000	1,300,000	
		1,966,000	1,554,298	
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A	39.8%	45.5%
歳入決算(見込み)繰越金 F		100,000	100,000	
繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		7.7%	7.7%	
積立金現在高 H		384,849	313,512	

今後の方向性 (主管部課意見)	地域の防犯啓発事業を推進するにあたり、小平防犯協会が実施する事業は有益であり、今後も引き続き活動を補助することで、市民の防犯意識の高揚と防犯対策が図れるため必要と認識している。
--------------------	--



## 小平市補助金評価票 乙（直接交付用）A

No.9

① 補助事業名	防災施設の維持管理事業 自治会消火器購入費補助		
③ 主管部課	市民生活部 防災安全課	③ 補助開始年	昭和 47年
⑤ 経過年数	36年	⑤ 補助対象者数	1～2自治会
⑥ 補助事業の内容と補助金の使途	消火器又は格納箱を購入し、設置する自治会に対し、10世帯に1箇所の割合で、1箇所あたり設置費の2分の1（8,000円限度）の補助を行っている。		

\* 全補助件数の合計 （単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
補⑦ 助 対 象 ① の 事 業 一 人 に か か り	補助対象経費 A (B+D+E)	96,000	57,000	
	内訳	本市補助金額B	48,000	28,087
		(うち国・都等特定財源合計)C		
		本人負担D	48,000	28,913
		その他 E		
	市負担率F B/A		50.0%	49.3%

今後の方向性 (主管部課意見)	小平市地域配備消火器設置事業に代わる事業として、自治会で設置・管理することを促進させる目的のこの補助制度は、消火器の存在が市民にとって身近になることと、なによりも市の経費節減がメリットとなる。街頭消火器は不特定多数の人が火災を発見したとき、初期消火に使用してもらうための器具として、自治会との協力で市内に増設させるためにも、必要性を認識している。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.10

① 補助事業名	小平市職員互助会補助金交付事業	② 団体名	小平市職員互助会
③ 主管部課	総務部 職員課	④ 補助開始年	昭和 43年
⑤ 経過年数	40年	⑥ 団体の 構成員数	998 人
⑦ 補助団体の 活動内容	職員の互助共済、元気回復その他職員の厚生に関する事項を実施する。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	職員の福利厚生に関する事業のうち保健体育費、文化費、厚生費の事業の一部について補助する。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算
		①の事業にか かる補助団体 予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
内訳	本市補助金額B	5,896,000	6,058,000
	（うち国・都 等特定財源合 計）C		
	その他財源D	13,138,000	13,508,563
	補助金と事業費の割合 （%） E B/A	31.0%	31.0%
	歳入決算（見込み）繰越 金 F	512,449	1,045,841
	繰越金と補助金の割合 （%） G F/B	8.7%	17.3%
	積立金現在高 H		

今後の方向性 （主管部課意見）	小平市職員互助会補助金の交付については、職員の互助共済、元気回復のために必要な範囲で補助を行う。
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.11

① 補助事業名	小平市私立幼稚園協会一般事業費 私立幼稚園教育充実振興事業	② 団体名	小平市私立幼稚園協会
③ 主管部課	次世代育成部保育課	④ 補助開始年	昭和 52年
⑤ 経過年数	31年	⑥ 団体の 構成員数	3,965人
⑦ 補助団体の 活動内容	小平市内の私立幼稚園15園から構成される団体で、主に教職員の研修会や、園長・設置者の勉強会等を開催している。また、月に1回園長会を開き、各園との連絡・調整を図っている。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	小平市私立幼稚園協会の各委員会事業または教職員永年勤続者表彰に要する費用に充当。年額1,560,000円を補助している。事業の円滑な実施を図り、もって幼児教育の向上・充実に資することを目的とする。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算
	歳出予算・決算額 A (B+D)		
	内訳		
	本市補助金額B	1,560,000	1,560,000
	（うち国・都等特定財源合計）C		
	その他財源D	3,116,000	2,234,794
	補助金と事業費の割合 (%) E B/A	33.4%	41.1%
	歳入決算（見込み）繰越金 F		
	繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	0.0%	0.0%
	積立金現在高 H		

今後の方向性 （主管部課意見）	<p>一般事業費補助は幼児教育を充実させていくために必要な補助であると考え。毎年一律1,560,000円の補助だが、委員会事業の内容を充実していくためにも金額を変えずに継続した援助をしていきたいと考える。</p> <p>※ 小平市私立幼稚園協会の構成員には園児も含まれるが、実際に運営に関与しているわけではないので、ここでは第三者として評価しました。</p>
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.12

① 補助事業名	小平市私立幼稚園協会心身障害児等教育補助 私立幼稚園教育充実振興事業	② 団体名	小平市私立幼稚園協会
③ 主管部課	次世代育成部保育課	④ 補助開始年	昭和 52年
⑤ 経過年数	31年	⑥ 団体の 構成員数	3,965人
⑦ 補助団体の 活動内容	小平市内の私立幼稚園15園から構成される団体で、主に教職員の研修会や、園長・設置者の勉強会等を開催している。また、月に1回園長会を開き、各園との連絡・調整を図っている。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	心身障害児等教育補助は、小平市内の私立幼稚園に心身障害児教育または特別教育指導を要する児童が入園している場合、児童一人あたり月額30,000円を補助している。対象児童に対し、補助指導者を加配した場合の人件費等に充当されている。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
内訳	本市補助金額B	14,040,000	14,370,000	
	（うち国・都等特定財源合計）C			
	その他財源D			
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A	100.0%	100.0%
		歳入決算（見込み）繰越金 F		
		繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	0.0%	0.0%
		積立金現在高 H		

今後の方向性 （主管部課意見）	<p>私立幼稚園において心身障害児等教育を行うことにより、保護者の精神的負担が軽減され、子どもの発達にも良い影響を与えるなど、経済的支援ではなく、精神的・社会的支援を行うことが出来ることから、必要な事業であると考え。児童一人あたり月額30,000円の補助だが、金額を変えることなく、心身障害児等教育の内容を充実させていく方向で検討したい。</p> <p>※ 小平市私立幼稚園協会の構成員には園児も含まれるが、実際に運営に関与しているわけではないので、ここでは第三者として評価しました。</p>
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.13

① 補助事業名	小平市私立幼稚園協会教職員研修補助 私立幼稚園教育充実振興事業	② 団体名	小平市私立幼稚園協会
③ 主管部課	次世代育成部保育課	④ 補助開始年	昭和 52年
⑤ 経過年数	31年	⑥ 団体の 構成員数	3,965人
⑦ 補助団体の 活動内容	小平市内の私立幼稚園 15園から構成される団体で、主に教職員の研修会や、園長・設置者の勉強会等を開催している。また、月に1回園長会を開き、各園との連絡・調整を図っている。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	教職員が、研修会に参加する費用として充当。一人あたり年額30,000円を補助している。教職員の心身の疲れを癒すだけでなく、人を楽しませる教育内容について考える。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
内訳		本市補助金額B	7,890,000	7,830,000
		（うち国・都等特定財源合計）C		
		その他財源D		
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A	100.0%	100.0%
	歳入決算（見込み）繰越金 F			
	繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	0.0%	0.0%	
	積立金現在高 H			

今後の方向性 (主管部課意見)	<p>教職員の資質向上及び幼児教育の振興充実を目的とした事業であるため、今後も継続した支援をいたしたい。</p> <p>※ 小平市私立幼稚園協会の構成員には園児も含まれるが、実際に運営に関与しているわけではないので、ここでは第三者として評価しました。</p>
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.14

① 補助事業名	小平市私立幼稚園協会園児健康管理補助 私立幼稚園教育充実振興事業	② 団体名	小平市私立幼稚園協会
③ 主管部課	次世代育成部保育課	④ 補助開始年	昭和 52年
⑤ 経過年数	31年	⑥ 団体の 構成員数	3,965人
⑦ 補助団体の 活動内容	小平市内の私立幼稚園15園から構成される団体で、主に教職員の研修会や、園長・設置者の勉強会等を開催している。また、月に1回園長会を開き、各園との連絡・調整を図っている。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	園医等が行う園児の健康管理に要する費用として充当。一園あたり年額60,000円を補助している。		

（単位 円）

⑨ 財務状況	①の事業にかか る補助団体予 算・決算		20年度予算	19年度決算	
		歳出予算・決算額 A (B+D)	900,000	900,000	
		内訳	本市補助金額B	900,000	900,000
			（うち国・都 等特定財源合 計）C		
			その他財源D		
		補助金と事業費の割合 （%） E B/A	100.0%	100.0%	
		歳入決算（見込み）繰越 金 F			
		繰越金と補助金の割合 （%） G F/B	0.0%	0.0%	
積立金現在高 H					

今後の方向性 （主管部課意見）	<p>学校保健法により園医の設置及び健康診断が義務付けられているため、今後も継続した支援をしていくことにより園児健康管理の促進・充実させていく方向で検討いたしたい。</p> <p>※ 小平市私立幼稚園協会の構成員には園児も含まれるが、実際に運営に関与しているわけではないので、ここでは第三者として評価しました。</p>
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.15

① 補助事業名	小平市私立幼稚園協会寄生虫卵等検査補助 私立幼稚園教育充実振興事業	② 団体名	小平市私立幼稚園協会
③ 主管部課	次世代育成部保育課	④ 補助開始年	昭和 52年
⑤ 経過年数	31年	⑥ 団体の 構成員数	3,965人
⑦ 補助団体の 活動内容	小平市内の私立幼稚園15園から構成される団体で、主に教職員の研修会や、園長・設置者の勉強会等を開催している。また、月に1回園長会を開き、各園との連絡・調整を図っている。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	園児、教職員が 年2回行う寄生虫卵等検査に要する費用として充当。一回につき一人あたり230円×1.05を補助している。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかか る補助団体予 算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D) 1,926,000
内訳	本市補助金額B 1,926,000		1,829,604	
	（うち国・都 等特定財源合 計）C			
	その他財源D			
	補助金と事業費の割合 （%） E B/A		100.0%	100.0%
	歳入決算（見込み）繰越 金 F			
	繰越金と補助金の割合 （%） G F/B		0.0%	0.0%
	積立金現在高 H			

今後の方向性 （主管部課意見）	<p>寄生虫卵等検査は、学校保健法施行規則において健康診断の事項として掲げられているものであり、園児の健康管理において不可欠なものであるため、今後も継続した支援を行いたいと考える。</p> <p>※ 小平市私立幼稚園協会の構成員には園児も含まれるが、実際に運営に関与しているわけではないので、ここでは第三者として評価しました。</p>
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.16

① 補助事業名	小平市私立幼稚園協会園具・教具補助 私立幼稚園教育充実振興事業	② 団体名	小平市私立幼稚園協会
③ 主管部課	次世代育成部保育課	④ 補助開始年	昭和 52年
⑤ 経過年数	31年	⑥ 団体の 構成員数	3,965人
⑦ 補助団体の 活動内容	小平市内の私立幼稚園15園から構成される団体で、主に教職員の研修会や、園長・設置者の勉強会等を開催している。また、月に1回園長会を開き、各園との連絡・調整を図っている。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	園児が快適な幼稚園生活を送るために必要な園具・教具を購入する際に要する費用に充当。 一園につき年額40,000円の園数割と園児一人につき80円の園児数割によって補助金額を決定している。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		①	歳出予算・決算額 A (B+D)	898,000
⑨ 財務 状況	内訳	本市補助金額B	898,000	896,480
		（うち国・都 等特定財源合 計）C		
		その他財源D		
	補助金と事業費の割合 （%） E B/A		100.0%	100.0%
歳入決算（見込み）繰越 金 F				
繰越金と補助金の割合 （%） G F/B		0.0%	0.0%	
積立金現在高 H				

今後の方向性 （主管部課意見）	<p>園具・教具は園児が幼稚園生活を送る上で必要なものであるため、今後も継続した支援をしていきたい。</p> <p>※ 小平市私立幼稚園協会の構成員には園児も含まれるが、実際に運営に関与しているわけではないので、ここでは第三者として評価しました。</p>
--------------------	---



## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.17

① 補助事業名	小平市認定保育室制度 運営費補助事業	② 団体名	小平市認定保育室
③ 主管部課	次世代育成部保育課	④ 補助開始年	昭和 43年
⑤ 経過年数	40年	⑥ 団体の 構成員数	13人
⑦ 補助団体の 活動内容	小規模な保育施設で、保育に欠ける乳幼児を保育し、乳幼児の健全な育成を図る。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	運営費補助 施設費補助 賠償責任保険費補助		

（単位 円）

⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算		20年度予算	19年度決算	
		歳出予算・決算額 A (B+D)	34,591,973	35,056,158	
		内訳	本市補助金額B	20,955,600	21,236,800
			（うち国・都 等特定財源合 計）C	(8,461,200)	(8,516,800)
			その他財源D	13,636,373	13,819,358
		補助金と事業費の割合 （%） E B/A	60.6%	60.6%	
		歳入決算（見込み）繰越 金 F	3,971,316	4,019,328	
		繰越金と補助金の割合 （%） G F/B	19.0%	18.9%	
		積立金現在高 H			

今後の方向性 （主管部課意見）	認定保育室は、地域において重要かつ信頼される保育サービスの担い手としての役割を果たしていることから、引き続き現行の補助水準を維持していく必要がある。
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.18

① 補助事業名	小平市認定家庭福祉員制度 運営費補助事業	② 団体名	小平市認定家庭福祉員
③ 主管部課	次世代育成部保育課	④ 補助開始年	昭和 60年
⑤ 経過年数	23年	⑥ 団体の 構成員数	23人
⑦ 補助団体の 活動内容	家庭的雰囲気の中で、一人ひとりを大切にしながら柔軟かつきめ細やかな保育を実施する。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	運営費補助 施設費補助 賠償責任保険費補助 経営安定費補助		

（単位 円）

⑨ 財務状況	①の事業にかか る補助団体予 算・決算		20年度予算	19年度決算	
		歳出予算・決算額 A (B+D)	107,740,955	110,787,537	
		内訳	本市補助金額B	89,467,200	91,997,056
			（うち国・都 等特定財源合 計）C	(39,828,000)	(36,255,000)
			その他財源D	18,273,755	18,790,481
		補助金と事業費の割合 （%） E B/A	83.0%	83.0%	
		歳入決算（見込み）繰越 金 F	0	0	
		繰越金と補助金の割合 （%） G F/B	0.0%	0.0%	
積立金現在高 H					

今後の方向性 （主管部課意見）	認定家庭福祉員については、家庭的保育の実施者として高い評価があるため、今後についても運営の安定化のため支援を継続していく必要がある。
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.19

① 補助事業名	民生委員児童委員協議会補助金	② 団体名	民生委員児童委員協議会
③ 主管部課	健康福祉部高齢者福祉課	④ 補助開始年	昭和 54年
⑤ 経過年数	29年	⑥ 団体の 構成員数	120人
⑦ 補助団体の 活動内容	定員133名の委員が、高齢者問題・児童問題をはじめとする身近な地域での生活に係る相談・援助を行うため、関係機関との連携強化及び行政機関等に対する協力活動		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	東京都民生委員児童委員連合会会費、全国民生委員児童委員連合会会費、全国互助共励会費の補助		

（単位 円）

		21年度予算	20年度決算
		⑨ 財務状況	①の事業にかか る補助団体予 算・決算
歳出予算・決算額 A (B+D)		4,208,710	4,080,414
内訳	本市補助金額B	1,064,000	1,209,800
	（うち国・都 等特定財源合 計）C		
	その他財源D	3,144,710	2,870,614
補助金と事業費の割合 （%） E B/A		25.3%	29.6%
歳入決算（見込み）繰越 金 F		668,668	444,436
繰越金と補助金の割合 （%） G F/B		62.8%	36.7%
積立金現在高 H		0	0

今後の方向性 （主管部課意見）	今後も、市の社会福祉充実のため、支援継続の必要がある
--------------------	----------------------------

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.20

① 補助事業名	原爆被爆者の会補助金	② 団体名	原爆被爆者の会
③ 主管部課	健康福祉部高齢者福祉課	④ 補助開始年	平成 4 年
⑤ 経過年数	16 年	⑥ 団体の 構成員数	44人
⑦ 補助団体の 活動内容	会員の福祉向上と市民啓発などを目的とした事業の実施		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	会員の福祉向上と市民啓発などに寄与することを目的とした小平市原爆被爆者の会が行う事業に対し、事務費、会報発行に係る事業費、その他必要と認める経費の一部を補助する		

（単位 円）

		21年度予算	20年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
	内訳	本市補助金額B	57,000	57,000
		（うち国・都等特定財源合計）C		
		その他財源D	123,087	128,130
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A	31.7%	30.8%
		歳入決算（見込み）繰越金 F	8,087	26,830
		繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	14.2%	47.1%
		積立金現在高 H	0	0

今後の方向性 （主管部課意見）	今後も市民啓発と会員の福祉向上などのために継続が必要である。 （社会福祉団体育成のため）
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.21

① 補助事業名	遺族会補助金	② 団体名	遺族会
③ 主管部課	健康福祉部高齢者福祉課	④ 補助開始年	昭和 40年
⑤ 経過年数	43年	⑥ 団体の 構成員数	120人
⑦ 補助団体の 活動内容	戦没者遺族の福利厚生と市民啓発などを図るための事業の実施		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	戦没者遺族の福利厚生と市民啓発などを図るために行う事業等に対する経費のうち事務費、事業費、その他必要と認める経費の一部または全部を補助する		

（単位 円）

		21年度予算	20年度決算
		①の事業にか かる補助団体 予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
内訳	本市補助金額B	157,000	157,000
	（うち国・都 等特定財源合 計）C		
	その他財源D	396,863	377,987
	補助金と事業費の割合 （%） E B/A	28.3%	29.3%
	歳入決算（見込み）繰越 金 F	219,863	198,487
	繰越金と補助金の割合 （%） G F/B	140.0%	126.4%
	積立金現在高 H	0	0

今後の方向性 （主管部課意見）	今後も市民啓発と遺族の福祉厚生などを図るために継続が必要である。 （社会福祉団体育成のため）
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.22

① 補助事業名	小平市社会福祉協議会補助金	② 団体名	社会福祉法人 小平市社会福祉協議会
③ 主管部課	健康福祉部高齢者福祉課	④ 補助開始年	昭和 58年
⑤ 経過年数	25年	⑥ 団体の 構成員数	15人 個人会員12,250人 事業所会員274件
⑦ 補助団体の 活動内容	児童・高齢者・障がい者・ひとり親家庭等への支援、法外・緊急援護その他福祉資金貸付、共同募金運動・ボランティア活動の推進、地域福祉活動計画の推進、権利擁護センターこだいらの運営、障がい者自立生活センターの受託、障害者福祉センター・あおぞらセンター及び高齢者交流室の指定管理等		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	人件費、ボランティア活動推進事業、ひとりぐらし高齢者安否確認事業、福祉サービス総合支援事業、成年後見活用あんしん生活創造事業等の各事業実施にかかる経費に対するの補助		

（単位 円）

		21年度予算	20年度決算	
		①	歳出予算・決算額 A (B+D)	598,686,000
⑨ 財務状況	内訳	本市補助金額B	128,655,000	124,757,000
		（うち国・都 等特定財源合 計）C	(3,400,000)	(3,400,000)
		その他財源D	470,031,000	568,916,788
	補助金と事業費の割合 (%) E B/A		21.5%	18.0%
歳入決算（見込み）繰越 金 F		0	0	
繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		0.0%	0.0%	
積立金現在高 H		0	0	

今後の方向性 (主管部課意見)	今後も、市の社会福祉充実のために継続の必要がある。 (社会福祉団体育成のため)
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.23

① 補助事業名	シルバー人材センター補助事業	② 団体名	社団法人 小平市シルバー人材センター
③ 主管部課	健康福祉部高齢者福祉課	④ 補助開始年	昭和 51年
⑤ 経過年数	32年	⑥ 団体の 構成員数	1,195人
⑦ 補助団体の 活動内容	一般雇用に結びつけることには課題があるが働く意欲を持つ健康な高齢者の働く機会を確保し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに寄与している。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	1 人件費：事務局長及び一般職員 2 管理運営費：事務局運営費及び安全就業推進員人件費 3 事業費：高齢者活用生活援助サービス事業費、福祉・家事援助サービス事業費、学習教室(パソコン教室)事業		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
	内訳	本市補助金額B	44,882,000	43,801,770
		（うち国・都等特定財源合計）C	(13,995,000)	(13,495,000)
		その他財源D	478,658,000	465,329,541
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A	8.6%	8.6%
		歳入決算（見込み）繰越金 F	14,633,643	12,212,011
		繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	32.6%	27.9%
		積立金現在高 H	96,212,205	96,212,205

今後の方向性 (主管部課意見)	<p>高齢化が進むにつれ、シルバー人材センターに期待される役割は今後益々増えることが予想される。多様な価値観・経歴を持った会員のニーズにあった就業先を紹介できるよう、新たな就業先の開拓に力を入れ、より多くの高齢者の生きがいや社会参加に寄与できるよう更なる努力が求められる。</p> <p>小平市行財政再構築プラン「No.46-2(社)小平市シルバー人材センターの経営改善の要請」の中で、シルバー人材センターに対して自主事業及び自主財源の拡大に向けた指導を行っている。また、平成20年度から補助対象項目の一部見直しを行っている。</p> <p>こうした中で支援の継続が必要である。</p>
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.24

① 補助事業名	高齢クラブ連合会補助 老人クラブ補助事業	② 団体名	高齢クラブ連合会
③ 主管部課	健康福祉部高齢者福祉課	④ 補助開始年	昭和 40年
⑤ 経過年数	43年	⑥ 団体の 構成員数	2,613人
⑦ 補助団体の 活動内容	市内各地域の単位高齢クラブに所属している高齢者が、教養の向上、健康の増進、社会奉仕活動、レクリエーションなどの活動を通して、自らの生きがいづくりと、会員相互の親睦を図っている。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	自主的に組織された単位高齢クラブを総括する高齢クラブ連合会に対して補助育成指導及び連絡調整などを行うことにより高齢者福祉の向上を図る。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
	内訳	本市補助金額B	459,320	421,551
		（うち国・都等特定財源合計）C	(249,813)	(278,000)
		その他財源D	6,547,678	6,143,191
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A	6.6%	6.4%
		歳入決算（見込み）繰越金 F	0	287,998
		繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	0.0%	68.3%
		積立金現在高 H	0	0

今後の方向性 （主管部課意見）	高齢人口の増加と地域コミュニティの希薄化が行政課題として問題視されている現状において、積極的な地域活動を展開する単位高齢クラブを総括する高齢クラブ連合会の支援の必要性は大きいため継続。
--------------------	--



## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.24-1

① 補助事業名	単位高齢クラブ補助 老人クラブ補助事業	② 団体名	〇〇会
③ 主管部課	健康福祉部高齢者福祉課	④ 補助開始年	昭和 40年
⑤ 経過年数	43年	⑥ 団体の 構成員数	118人
⑦ 補助団体の 活動内容	同じ地域の仲間が、教養の向上、健康の増進、社会奉仕活動、レクリエーションなどの活動を通して、自らの生きがいくりと、会員相互の親睦を図っている。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	自主的に組織された単位高齢クラブに対して補助育成指導及び連絡調整などを行うことにより高齢者福祉の向上を図る。		

\* 1クラブの例 （単位 円）

		20年度予算	19年度決算
		⑨ 財務状況	①の事業にか かる補助団体 予算・決算
	内訳	本市補助金額B 298, 550	298, 300
		（うち国・都 等特定財源合 計）C (188, 800)	(188, 800)
		その他財源D 877, 811	811, 979
	補助金と事業費の割合 (%) E B/A	25. 4%	26. 9%
	歳入決算（見込み）繰越 金 F	0	141, 810
	繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	0. 0%	47. 5%
	積立金現在高 H	0	0

今後の方向性 (主管部課意見)	高齢人口の増加と地域コミュニティの希薄化が行政課題として問題視されている現状において、積極的な地域活動を展開する単位高齢クラブの支援の必要性は大きいため継続。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.25

① 補助事業名	小平市有償家事・介護援助サービス事業補助金	② 団体名	〇〇〇
③ 主管部課	健康福祉部高齢者福祉課	④ 補助開始年	平成 6年
⑤ 経過年数	14年	⑥ 団体の 構成員数	利用会員134人 協力会員102人 賛助会員30人
⑦ 補助団体の 活動内容	在宅の高齢者・障がい者等が必要としている家事・介護サービスの提供		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	市内の民間団体等が行う地域に根ざした有償家事・介護援助サービス事業に対して、市が補助することにより、市民の在宅福祉の増進を図る		

\*1施設の例（他2施設あり）

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算	
		歳出予算・決算額 A (B+D)	5,538,246	4,344,021
		本市補助金額B	2,700,000	2,900,000
		（うち国・都等特定財源合計）C	(1,350,000)	(1,450,000)
		その他財源D	2,838,246	1,444,021
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A	48.8%	66.8%
		歳入決算（見込み）繰越金 F	0	13,246
		繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	0.0%	0.5%
		積立金現在高 H	0	0

今後の方向性 （主管部課意見）	住民相互のたすけ合いによる地域社会における福祉向上のため継続が必要である。
--------------------	---------------------------------------



## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.26

① 補助事業名	団体育成補助事業	② 団体名	身体障害者協会
③ 主管部課	障害者福祉課	④ 補助開始年	昭和 56年
⑤ 経過年数	27年	⑥ 団体の 構成員数	13人
⑦ 補助団体の 活動内容	身体障がい者（視覚）傷痍軍人並びに会の趣旨に賛同するもの及びその家族の親睦を図り身体障がい者の更生援護、育成指導、品性の教養を高め、もって社会福祉の増進を図るため、総会、部会、研修会、季節の行事等を行なう。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	障がい者団体が心身障がい者（児）の育成、更生援護及び福祉の増進を図るために行なう事業について、経費の一部を補助する。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)	1,031,989
⑨ 財務状況	内訳	本市補助金額B	165,000	165,000
		（うち国・都等特定財源合計）C		
		その他財源D	866,989	1,068,653
	補助金と事業費の割合 (%) E B/A		16.0%	13.4%
歳入決算（見込み）繰越金 F		321,189	601,132	
繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		194.7%	364.3%	
積立金現在高 H				

今後の方向性 （主管部課意見）	今後も引き続き補助していく。
--------------------	----------------

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.27

① 補助事業名	団体育成補助事業	② 団体名	聴力障害者協会
③ 主管部課	障害者福祉課	④ 補助開始年	昭和 56年
⑤ 経過年数	27年	⑥ 団体の 構成員数	9人
⑦ 補助団体の 活動内容	小平市の聴覚障がい者の福祉の向上を目指し、小平市の聴覚障がい者をもって組織し、会員相互の親睦を図るため、総会、部会、研修会、季節の行事等を行なう。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	障がい者団体が心身障がい者（児）の育成、更生援護及び福祉の増進を図るために行なう事業について、経費の一部を補助する。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		① の 事業 にか かる 補助 団体 予算 ・ 決算	歳出予算・決算額 A (B+D)	1,092,000
⑨ 財務 状況	内訳	本市補助金額B	25,000	25,000
		（うち国・都 等特定財源合 計）C		
		その他財源D	1,067,000	1,072,644
	補助金と事業費の割合 （%） E B/A	2.3%	2.3%	
	歳入決算（見込み）繰越 金 F	0	0	
	繰越金と補助金の割合 （%） G F/B	0.0%	0.0%	
	積立金現在高 H			

今後の方向性 （主管部課意見）	今後も引き続き補助していく。
--------------------	----------------

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.28

① 補助事業名	団体育成補助事業	② 団体名	肢体不自由児者父母の会
③ 主管部課	障害者福祉課	④ 補助開始年	昭和 56年
⑤ 経過年数	27年	⑥ 団体の 構成員数	15人
⑦ 補助団体の 活動内容	肢体不自由児・者ならびに、重複障がい児・者の福祉に対する以下の取り組みを実施する。 ○啓発活動、研修に関する事 ○関係行政機関の行う諸施策の協力・要請、関係諸団体との連携に関する事 ○会員および当事者相互の親睦と家庭療育に関する事 など		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	障がい者団体が心身障がい者（児）の育成、更生援護及び福祉の増進を図るために行なう事業について、経費の一部を補助する。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		①	歳出予算・決算額 A (B+D)	2, 278, 631
⑨ 財務状況	内訳	本市補助金額B	130, 000	130, 000
		（うち国・都 等特定財源合 計）C		
		その他財源D	2, 148, 631	2, 111, 804
	補助金と事業費の割合 （%） E B/A	5. 7%	5. 8%	
	歳入決算（見込み）繰越 金 F	511, 631	383, 391	
	繰越金と補助金の割合 （%） G F/B	393. 6%	294. 9%	
	積立金現在高 H			

今後の方向性 （主管部課意見）	今後も引き続き補助していく。
--------------------	----------------

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.29

① 補助事業名	団体育成補助事業	② 団体名	手をつなぐ親の会
③ 主管部課	障害者福祉課	④ 補助開始年	昭和 56年
⑤ 経過年数	27年	⑥ 団体の 構成員数	12人
⑦ 補助団体の 活動内容	心身障がい児・者のまわりにおこる問題点の取り組み、地域社会（市民）の理解と関心を高めていくための活動を行う。 ○関係機関および団体との協力に関すること ○会員相互の親睦と研修に関すること		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	障害者団体が心身障害者（児）の育成、更生援護及び福祉の増進を図るために行なう事業について、経費の一部を補助する。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)	1, 427, 275
⑨ 財務状況	内訳	本市補助金額B	130, 000	130, 000
		（うち国・都等特定財源合計）C		
		その他財源D	1, 297, 275	1, 467, 612
	補助金と事業費の割合 (%) E B/A		9. 1%	8. 1%
歳入決算（見込み）繰越金 F		142, 275	159, 912	
繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		109. 4%	123. 0%	
積立金現在高 H				

今後の方向性 （主管部課意見）	今後も引き続き補助していく。
--------------------	----------------

## 小平市補助金評価票 甲 (団体用)A

No.30

① 補助事業名	小平市心身障害者(児)通所訓練等事業 運営費補助	② 団体名	〇〇〇
③ 主管部課	障害者福祉課	④ 補助開始年	昭和 52年
⑤ 経過年数	30年	⑥ 団体の 構成員数	職員11
⑦ 補助団体の 活動内容	心身障害者(児)を対象に、音楽を通し、心身のリハビリテーション、日常生活の生きがいに結びつく活動を行なう。音階練習、器楽合奏、呼吸法など。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	市内において心身障害者(児)通所訓練事業、また心身障害者通所授産事業、心身障害者地域デイグループ事業を運営する社会福祉法人等に対し、その経費の一部を補助し、在宅心身障害者(児)の自立更生、社会復帰の促進を図る。		

\* 1施設の例 (他11施設あり)

(単位 円)

		20年度予算	19年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
	内訳	本市補助金額B	24,866,070	24,866,070
		(うち国・都等特定財源合計) C	(16,880,000)	(16,880,000)
		その他財源D	2,331,762	1,792,664
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A	91.4%	93.3%
		歳入決算(見込み)繰越金 F	3,049,062	3,086,998
		繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	12.3%	12.4%
		積立金現在高 H		

今後の方向性 (主管部課意見)	今後、平成23年度までに障害者自立支援法の新体系となります。移行により補助金から扶助費となります。
--------------------	---



## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.31

① 補助事業名	障がい者地域生活支援 （家賃補助等）	② 団体名	社会福祉法人 ○○○
③ 主管部課	障害者福祉課	④ 補助開始年	平成 6年
⑤ 経過年数	14年	⑥ 団体の 構成員数	職員5 補助対象者5人
⑦ 補助団体の 活動内容	民間の団体が障がい者のグループホーム等を運営する。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	市の支給決定を受けたグループホーム利用者の家賃補助等を行うことにより、障がい者の社会復帰の促進を図る。		

\* 1 施設の例

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
	内訳	本市補助金額B	3,956,000	3,498,000
		（うち国・都 等特定財源合 計）C	(2,967,000)	(2,623,520)
		その他財源D	0	678,000
		補助金と事業費の割合 （%）E B/A	100.0%	83.8%
		歳入決算（見込み）繰越 金 F		
		繰越金と補助金の割合 （%）G F/B	0.0%	0.0%
		積立金現在高 H		

今後の方向性 （主管部課意見）	障害者自立支援法の施行により、グループホームの施設借り上げ費の部分について、今後も補助していくこととなります。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.32

① 補助事業名	老人保健施設等建設整備費 補助金	② 団体名	社会福祉法人 黎明会 けやきの郷
③ 主管部課	健康福祉部健康課	④ 補助開始年	平成 7 年
⑤ 経過年数	13年	⑥ 団体の 構成員数	正規職員 55人 非常勤職員 60人
⑦ 補助団体の 活動内容	介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭復帰を促進するための施設として必要性の高い老人保健施設		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	老人保健施設等の建設整備に要する費用に充てるための社会福祉医療事業団からの融資にかかる償還金（利子を含む）		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
	内訳	本市補助金額B	35,613,990	36,093,070
		（うち国・都等特定財源合計）C		
		その他財源D	548,755,000	565,604,762
	補助金と事業費の割合 (%) E B/A	6.1%	6.0%	
	歳入決算（見込み）繰越金 F	3,711,000	2,752,129	
	繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	10.4%	7.6%	
	積立金現在高 H	0	0	

<p>今後の方向性 （主管部課意見）</p>	<p>この補助事業は、平成5年小平市地域保健福祉計画に基づき、地域の介護を必要とする高齢者等の自立を支援し、家庭復帰を促進するための施設として必要性の高い老人保健施設建設計画を実施した当該法人に対し、建設及び整備の資金の一部の補助として、社会福祉・医療事業団から受けた融資の借入金に対する元金及びこの融資に係る償還利子のうち、1.7%の補助を行っているものである。</p> <p>平成9年4月に開設以後、本市において、老人保健施設は建設されておらず、重要な役割を担っていると思われるので、当初計画どおり、継続が望ましい。</p>
----------------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.33

① 補助事業名	リサイクル推進事業 ごみ減量推進実行委員会	② 団体名	小平市ごみ減量推進実行委員会
③ 主管部課	環境部ごみ減量対策課	④ 補助開始年	平成 4年
⑤ 経過年数	16年	⑥ 団体の 構成員数	49人
⑦ 補助団体の 活動内容	ごみ減量とリサイクル推進を目的としたフリーマーケットやフェスティバル、講習会を開催し、ごみに関する広報誌を作成し市内に新聞折込配布する。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	上記の事業内容に補助金を使う。		

（単位 円）

⑨ 財務状況	①の事業にか かる補助団体 予算・決算		20年度予算	19年度決算	
		歳出予算・決算額 A (B+D)	2,842,571	2,044,402	
		内訳	本市補助金額B	2,000,000	2,000,000
			（うち国・都 等特定財源合 計）C		
			その他財源D	842,571	44,402
		補助金と事業費の割合 （%） E B/A	70.4%	97.8%	
		歳入決算（見込み）繰越 金 F	415,071	1,410	
		繰越金と補助金の割合 （%） G F/B	20.8%	0.1%	
積立金現在高 H					

今後の方向性 （主管部課意見）	実行委員会事業はごみ減量とリサイクル推進を目的とした重要な啓発活動である。委員会は地域の団体、企業、市民で構成されているが、新たな委員の獲得と毎年同様に行われる事業内容に変化を加える必要がある。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.34

① 補助事業名	産業まつり(農業部門)	② 団体名	小平市産業まつり 農業部会運営委員会
③ 主管部課	産業振興課	④ 補助開始年	昭和 54年
⑤ 経過年数	28年	⑥ 団体の 構成員数	43人
⑦ 補助団体の 活動内容	産業まつりの開催に伴う事業等		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	都市農業の確立と安定を図るため、産業まつり（農業部門）開催費用の一部を補助し、農産物を市民に紹介するとともに、品質の向上、農業者の生産意欲向上を図る。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		⑨ 財務状況	①の事業にかか る補助団体予 算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
	内訳	本市補助金額B	1,000,000	1,000,000
		（うち国・都 等特定財源合 計）C		
		その他財源D	3,985,000	2,512,292
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A	20.1%	28.5%
		歳入決算（見込み）繰越 金 F		
		繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	0.0%	0.0%
		積立金現在高 H		

今後の方向性 (主管部課意見)	単なるイベントでなく市内農業をJA青壮年部による小平農業クイズとパネル展・市民菜園利用者の農産物品評会・品評会農産物売上金の社協への寄付・市内産農産物の特価販売等を通しPRすることは、今後も積極的に取り組む方針であり、更なる支援の拡充が必要である。
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲 (団体用)A

No.35

① 補助事業名	商工会補助事業	② 団体名	小平商工会
③ 主管部課	産業振興課	④ 補助開始年	昭和 39年
⑤ 経過年数	44年	⑥ 団体の 構成員数	2,142事業者
⑦ 補助団体の 活動内容	市内商工業のそ振興発展と市民消費者へのサービス向上に寄与することを目的として活動している。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	商工業振興事業、生活習慣病集団検診事業、産業まつり事業、サマーフェア事業、商店街空き店舗活用事業、情報メディア事業、中小企業特定退職金共済事業、小平ブランド事業、創業・起業・経営革新セミナーに補助を行った。補助金はチラシ・ポスターなどの広報費用、イベントを開催するための会場設営・運営に要する費用、イベント出演者や講師などへの謝礼などに支出した。		

(単位 円)

		20年度予算	19年度決算
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算
歳出予算・決算額 A (B+D)		132,443,583	130,628,640
内訳	本市補助金額B	22,750,000	22,674,817
	(うち国・都等特定財源合計) C	()	()
	その他財源D	109,693,583	17,769,346
補助金と事業費の割合 (%) E B/A		17.2%	17.4%
歳入決算(見込み)繰越金 F		677,804	3,840,273
繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		3.0%	16.9%
積立金現在高 H			

今後の方向性 (主管部課意見)	市内の地域経済は小規模事業者を中心として全体的に厳しい状態にあり、さらに企業間格差も拡大している状況である。このように中、地域商工業の発展と活力あるまちづくりの中心的存在として、地域での役割と期待が集まっている小平商工会への補助金を継続していくべきである。
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲 (団体用)A

No.36

① 補助事業名	商業集積地環境整備補助事業 街路灯等電気料	② 団体名	商店会
③ 主管部課	産業振興課	④ 補助開始年	昭和 54年
⑤ 経過年数	28年	⑥ 団体の 構成員数	3 4 商店会
⑦ 補助団体の 活動内容	商店会の近代化、明るい商店会づくりを目指し、環境整備を図り、商業振興を促進している。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	各商店会が維持している街路灯等の電気料金の一部に補助を行った。		

(単位 円)

		20年度予算	19年度決算
		⑨ 財務状況	①の事業にかか る補助団体予 算・決算
歳出予算・決算額 A (B+D)		9,676,000	10,472,630
内訳	本市補助金額B	4,838,000	4,702,000
	(うち国・都 等特定財源合 計) C	( )	( )
	その他財源D	4,838,000	5,770,630
補助金と事業費の割合 (%) E B/A		50.0%	44.9%
歳入決算(見込み)繰越 金 F		0	0
繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		0.0%	0.0%
積立金現在高 H			

今後の方向性 (主管部課意見)	市内商店会は大規模店舗などの影響を受け、会員数が減少し、街路灯を維持することが厳しい状況にある。一方、商店会の街路灯は商店街に明かりを灯し、街を活性化させるだけでなく、市民の安全上にも必要不可欠なものとなっている。そうしたことから、商店会への補助金を継続していくべきである。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲 (団体用)A

No.37

① 補助事業名	中小企業等活性化事業	② 団体名	中小企業団体
③ 主管部課	産業振興課	④ 補助開始年	平成 3年
⑤ 経過年数	18年	⑥ 団体の 構成員数	8 団体
⑦ 補助団体の 活動内容	地域との連携を進め、市内の商業振興を促進している。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	イベント事業として、商店会のイルミネーションに、活性化研究事業として、小平異業種交流会が行う特産品開発事業などに補助をした。補助金はイルミネーションの設置・撤去費用、異業種交流会が参加する物産市への参加費などに支出した。		

(単位 円)

		20年度予算	19年度決算
		⑨ 財務状況	①の事業にかか る補助団体予 算・決算
歳出予算・決算額 A (B+D)		2,929,530	2,704,833
内訳	本市補助金額B	1,865,000	1,414,752
	(うち国・都 等特定財源合 計) C	( )	( )
	その他財源D	1,064,530	1,290,081
補助金と事業費の割合 (%) E B/A		63.7%	52.3%
歳入決算(見込み)繰越 金 F		0	0
繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		0.0%	0.0%
積立金現在高 H			

今後の方向性 (主管部課意見)	この事業は市内産業を活性化させようと自主的に活動している中小企業団体等を支援するものである。地域の活性化には、特色あるまちづくりが必要であり、中小企業団体等の斬新なアイデアが求められている。このような活動に積極的に取り組んでいる中小企業団体等の支援を継続していく。
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.38

① 補助事業名	グリーンロード産業活性化事業	② 団体名	小平市グリーンロード推進協議会
③ 主管部課	市民生活部産業振興課	④ 補助開始年	平成 10年
⑤ 経過年数	11年	⑥ 団体の 構成員数	約80名
⑦ 補助団体の 活動内容	<p>小平市グリーンロード推進協議会は、平成10年、市民協働の力で小平グリーンロードを活用し、産業活性化と、水と緑の育成・管理を行い、豊かで活力のあるふれあいのまち、喜びと楽しみをわかちあえるまちを築くことを目的として設立された。</p> <p>設立以降は、貴重な観光資源である小平グリーンロードを軸とした市民中心の産業振興策・ボランティア活動を展開しており、長年に渡り、継続的に市の産業活性化に寄与している。</p> <p>協議会では、会員が緑の保護活動やイベント開催などにより、部会ごとに分かれ、ボランティア活動等、観光・まちの魅力に係る活動を推進している。</p>		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	<p>平成19年度は、花まつり、ガーデニングコンテスト、小平グリーンロードウォーク、灯りまつり、オープンガーデン等のイベントを行った。また、小平グリーンロード沿いで、玉川上水野草保護ゾーンの整備・保護、狭山・境緑道の花壇整備、あじさい公園の植栽・管理、齋藤素巖ブロンズ像の整備等、緑の保護活動や整備活動等を行った。さらに、独自に開設しているホームページをリニューアルし、小平の魅力を常に発信している。</p> <p>市からの補助金は主に、各イベントの事業運営費やボランティア活動の備品、ホームページの委託料等に充当されている。</p>		

（単位 円）

⑨ 財務状況	① の事業にか かる補助団 体予算・決 算			20年度予算	19年度決算
		歳出予算・決算額 A (B+D)		3,750,000	3,626,050
		内訳	本市補助金額B	3,700,000	3,600,000
			(うち国・都 等特定財源合 計) C		
			その他財源D	50,000	26,050
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A		98.7%	99.3%
		歳入決算(見込み)繰越 金 F		28,216	44,238
		繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		0.8%	1.2%
積立金現在高 H					

今後の方向性 (主管部課意見)	<p>組織結成から10年経つが、徐々に小平グリーンロードを軸とした産業振興が定着しつつあり、集客効果をもたらしている。今後も小平グリーンロードを活用した、補助団体の自主事業支援及び育成を図り、補助事業を継続していきたい。</p> <p>年々事業が増え、また、事業規模も拡大する中、市からの補助金も増加傾向にある。事業や活動ごとに必要性を検討し、補助金を効率良く使っていきたい。</p>
--------------------	--



## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.39

① 補助事業名	消費生活展事業	② 団体名	多摩きた生活クラブ生活協同組合 まち小平
③ 主管部課	地域文化課	④ 補助開始年	昭和 58 年
⑤ 経過年数	25年	⑥ 団体の構成員数	1,777人
⑦ 補助団体の活動内容	補助団体は小平市消費者団体連絡会に参加する市内の消費者団体で、生協法に基づく組織。豊かな暮らしをめざし生活の改善のために、安心・安全な材を共同購入するなどの事業を行っている。小平市消費生活展で消費生活に関する研究の発表をする		
⑧ 補助事業の内容と補助金の使途	小平市消費生活展における消費者団体の研究発表の補助。消費者啓発のための研究費・資料等作成経費。展示品および展示に要する資材の購入経費。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算
		⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算
歳出予算・決算額 A (B+D)		15,000	15,000
内訳		本市補助金額B	15,000
		（うち国・都等特定財源合計）C	
		その他財源D	
補助金と事業費の割合 (%) E B/A		100.0%	100.0%
歳入決算（見込み）繰越金 F		0	0
繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		0.0%	0.0%
積立金現在高 H		0	0

今後の方向性 （主管部課意見）	消費者が安全な暮らしを確保するために、消費者展をとおして、消費者の一人一人が少しでも日常生活に問題意識を持ち、消費者自らが考え、主体的に行動する「かしこい消費者」を育てる一助として必要な事業である。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.40

① 補助事業名	緑と花いっぱい運動の会事業	② 団体名	小平市緑と花いっぱい運動の会
③ 主管部課	都市建設部 水と緑と公園課	④ 補助開始年	昭和 43年
⑤ 経過年数	40年	⑥ 団体の 構成員数	927人
⑦ 補助団体の 活動内容	<p>昭和43年に緑化の推進を目的に設立され、「小平を緑の街としていつまでも愛し、さらに四季折々の花をそえて一層美しい街として育て、お互いに明るく、楽しい生活を送りましょう」という趣意により活動している。</p> <p>花壇に花を植える活動や会員同士で種や苗を持ち寄り交換する種・苗交換会の開催、また、広く市民に参加を呼びかけ園芸の講習会を開催するなど緑化推進の活動をしている。その他、グリーンフェスティバル、市民まつりに参加し緑に対する市民意識の啓発に取り組んでいる。</p>		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	<p>市内の花壇、フラワーボックスへの花の植栽や小平市民まつりで花の球根を無償配布するなど緑化推進の啓蒙活動を行っている。市内の花壇等への花の植栽について平成19年度は、6月と12月の2回にわたり、それぞれ約1,500ポットの花の苗（6月:マリーゴールド、12月:パンジー）を植栽した。植栽後の管理は、年間を通じ各会員が適宜巡回して植生管理を行っている。補助金は、これら種苗の購入費として支出されている。</p>		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		①の事業にかかる補助団体 予算・決算		
⑨ 財務状況	歳出予算・決算額 A (B+D)	2,221,331	1,627,694	
	内訳	本市補助金額B	1,440,000	1,140,000
		(うち国・都等特定財源合計) C		
		その他財源D	781,331	487,694
	補助金と事業費の割合 (%) E B/A	64.8%	70.0%	
	歳入決算(見込み)繰越金 F	206,331	58,832	
	繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	14.3%	5.2%	
積立金現在高 H	0	0		

今後の方向性 (主管部課意見)	<p>今後、より一層、市民、事業者などと協働で緑化推進を図る必要があることから、当該補助団体の活動は、ますます重要性を増すものと考えている。また、既存の緑地などの緑やグリーンロードのみならず、市民が身近に感じられる「新たなみどり」の創出が行政課題となる中で、当該補助団体としても新たな役割が期待されており、活動の継続の必要性が高まっているものである。</p>
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.41

① 補助事業名	小平交通安全協会補助事業	② 団体名	小平交通安全協会
③ 主管部課	都市建設部交通対策課	④ 補助開始年	昭和 45年
⑤ 経過年数	38年	⑥ 団体の 構成員数	個人会員762 法人会員145 賛助会員 57
⑦ 補助団体の 活動内容	交通安全の趣旨にのっとり交通行政に協力し、交通道徳の高揚を図り、正しい交通実践のために必要なあらゆる事業を行ないもって交通事故のない明るい町づくりに寄与している。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	啓発宣伝費、春・秋の全国交通安全運動活動費、街頭活動費、各部会の活動費		

（単位 円）

⑨ 財務状況	①の事業にか かる補助団体 予算・決算		20年度予算	19年度決算	
		歳出予算・決算額 A (B+D)		6,780,330	7,401,500
		内訳	本市補助金額B	2,750,000	2,750,000
			(うち国・都 等特定財源合 計) C		
			その他財源D	4,030,330	4,651,500
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A		40.6%	37.2%
		歳入決算(見込み)繰越 金 F		280,330	678,634
		繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		10.2%	24.7%
積立金現在高 H		2,614,050	2,514,050		

今後の方向性 (主管部課意見)	交通事故件数は、横ばい状況にあるが、自転車利用者の交通ルール・マナーの欠如による交通事故が増加傾向にあり、道路整備、交通安全施設等のハード面の充実による事故防止には、財政面で限界があるなか、小平交通安全協会による交通安全講習会の実施や定例的並びに市民祭・産業祭等における街頭啓発活動は、交通ルール・マナーの向上等のソフト面で、交通事故防止に重要な役割を果たしている。今後、交通安全対策の充実を図るため、更なる協力関係を維持していく必要がある。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.42

① 補助事業名	小川駅西口地区における都市再開発法に基づく市街地再開発組合の設立を目的とした準備組合活動事業	② 団体名	小川駅西口地区市街地再開発準備組合
③ 主管部課	都市開発部 都市開発課	④ 補助開始年	平成 5年（※1）
⑤ 経過年数	15年（※2）	⑥ 団体の構成員数	35人（※3）
⑦ 補助団体の活動内容	平成19年5月に従前の協議会組織から準備組合に改組設立された団体で、小川駅西口駅前約1haの区域の地権者（土地所有者・借地権者）により構成され、都市計画決定された駅前広場と施設建築物を一体的に整備する市街地再開発事業の施行に向け、都市再開発法に基づく市街地再開発組合の設立等を目的とした計画に関する調査研究、施設計画・資金計画・権利変換計画等の作成、権利者意向の集約等の活動を行う。理事会を開催するとともに、市の支援により作成した事業計画案（たたき台）の調整と検討会、周辺住民との地域懇談会を行った。		
⑧ 補助事業の内容と補助金の使途	<p>1 補助要綱に定める使途                      設立・運営に要する経費のうち、会議費・事務費・広報費・調査研究費等</p> <p>2 19年度使途 会議費・事務費（切手代・印鑑等用品・消耗品）</p> <p>（※1）改組前の小川駅西口地区再開発協議会への補助開始を含む                      （※2）同協議会からの経過年数を含む（平成16～18年度は補助未申請）                      （※3）共有者を1人と算定するため、実人員ではない。                      （※4）同協議会からの引継金（繰越金）</p>		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		①	歳出予算・決算額 A (B+D)	512, 774
⑨ 財務状況	内訳	本市補助金額B	400, 000	29, 000
		（うち国・都等特定財源合計）C		
		その他財源D	112, 774	44, 358
	補助金と事業費の割合 (%) E B/A		78. 0%	39. 5%
	歳入決算（見込み）繰越金 F		40, 774	(※4) 7, 902
	繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		10. 2%	27. 2%
積立金現在高 H		0	0	

今後の方向性 （主管部課意見）	本補助事業は、団体が都市再開発法に基づく認可を受けた本組合設立までの支援のための補助であり、その間は継続する必要がある。
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.43

① 補助事業名	小平市学校保健会補助事業	② 団体名	小平市学校保健会
③ 主管部課	学務課	④ 補助開始年	昭和 57年
⑤ 経過年数	26年	⑥ 団体の 構成員数	170人
⑦ 補助団体の 活動内容	生活習慣病予防検診や講演会の実施、『子どもの健康』（児童・生徒の健康白書）の発行が主な事業である。年に一回の代表者会議と年四回の役員会を開催し、各事業の実施について検討・調整を行っている。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	一般事業費補助（講演会講師謝礼・会議費）		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算
		①の事業にか かる補助団体 予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
内訳	本市補助金額B	100,000	59,810
	（うち国・都 等特定財源合 計）C		
	その他財源D	210,000	189,200
	補助金と事業費の割合 （%） E B/A	32.2%	24.0%
	歳入決算（見込み）繰越 金 F	470	350
	繰越金と補助金の割合 （%） G F/B	0.5%	0.6%
	積立金現在高 H	0	0

今後の方向性 （主管部課意見）	小平市学校保健会は、小平市内の公立小学校、中学校の学校長、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、養護教諭、学校栄養士で組織し、学校保健の充実と発展を図ることを目的としたものであり、各種機関団体が相互の連絡を密にし目的達成に必要な事業を行っている。生活習慣病予防検診や講演会の実施、『子どもの健康』（児童・生徒の健康白書）の発行が主な事業であるが児童・生徒の保健にかかわる組織として重要な役割を担っている。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.44

① 補助事業名	小平市立中学校における 部活動大会参加費補助金	② 団体名	小平市立中学校
③ 主管部課	教育部 学務課	④ 補助開始年	昭和 49年
⑤ 経過年数	33年	⑥ 団体の 構成員数	小平市立中学校 8校
⑦ 補助団体の 活動内容	小平市立中学校の課外活動における部に所属する生徒が大会に参加する。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	小平市立中学校の課外活動における部が活動の一環として行う大会への参加に要する費用の一部を補助する。		

（単位 円）

⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算		20年度予算	19年度決算	
		歳出予算・決算額 A (B+D)	3,782,000	4,886,157	
		内訳	本市補助金額B	3,782,000	4,886,157
			（うち国・都等特定財源合計）C		
			その他財源D		
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A	100.0%	100.0%	
		歳入決算（見込み）繰越金 F			
		繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	0.0%	0.0%	
積立金現在高 H					

今後の方向性 （主管部課意見）	<p>現在は、小平市立中学校の部活動がさかんになり、大会への参加が増えている。部活動に係る大会の参加に要する費用の一部を補助することにより、当該生徒及び部の経済的な負担を軽減するとともに部活動の振興を図り、もって心身ともに健康で人間性豊かな生徒の育成につながる。</p> <p>以上より、本事業は今後も継続して行っていく方針である。</p>
--------------------	--



## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.45

① 補助事業名	青少年対策地区委員会育成事業	② 団体名	青少年対策地区委員会
③ 主管部課	教育部生涯学習推進課	④ 補助開始年	昭和 43年
⑤ 経過年数	40年	⑥ 団体の 構成員数	1,116人
⑦ 補助団体の 活動内容	地域の特徴を生かした活発で継続性のある活動を推進し、青少年の健全育成を図ることを目的としている。 <主な活動内容> ①家庭の健全化を図るための活動 ②社会環境の浄化を図るための活動 ③学校・PTA・商店などが一体となった活動 ④体育・レクリエーション活動 ⑤青少年の非行・事故防止のための活動 など		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	青少年の健全育成を図ることを目的とした各種事業に係る事業費の補助 <具体的な内容> ①青少対まつり ②クリーン作戦 ③防犯パトロール・交通安全立ち番 ④その他		

（単位 円）

⑨ 財務状況	①の事業にかか る補助団体予 算・決算		20年度予算	19年度決算	
		歳出予算・決算額 A (B+D)	11,823,529	10,136,920	
		内訳	本市補助金額B	4,020,000	3,443,000
			（うち国・都 等特定財源合 計）C		
			その他財源D	7,803,529	6,693,920
		補助金と事業費の割合 （%） E B/A	34.0%	34.0%	
		歳入決算（見込み）繰越 金 F	1,921,754	2,037,167	
		繰越金と補助金の割合 （%） G F/B	47.8%	59.2%	
積立金現在高 H	90,000	330,000			

今後の方向性 （主管部課意見）	平成18年度に改正された教育基本法では、新たに「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」が盛り込まれるとともに、小平市第三次長期基本総合計画においても学校と地域社会との協力や交流、地域コミュニティづくりの推進が掲げられている。青少対の活動は年々、活発になるとともに、学校との連携もスムーズになってきており、児童の保護者だけでなく、高齢者や幼児を含めた地域住民の参加も増えるなど、地域のコミュニティの中心として、機能しているともいえる。このような青少対の活動が、小平市が推進する「小平地域教育サポート・ネット事業」や「放課後子ども教室推進事業」及び、コミュニティスクールの基盤づくりに繋がっており、青少対の果たす役割は大きいといえることから、今後とも本事業の推進に努めていきたい。
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.46

① 補助事業名	子ども会育成事業	② 団体名	子ども会育成者連絡協議会
③ 主管部課	生涯学習推進課	④ 補助開始年	昭和 53年
⑤ 経過年数	30年	⑥ 団体の 構成員数	60人
⑦ 補助団体の 活動内容	市内の子ども会の育成者及び子ども会の活動に熱意のある賛同者により組織された団体で、子ども会ならびにその指導者の育成と子ども会相互の緊密な連絡を図ることを目的に、子ども会相互の情報交換や子ども会指導者のための講習会、研修会の実施、子ども会全体を対象とした行事の実施、子ども会安全会の運営などの活動を行っている。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	補助事業の内容①加盟団体育成事業②指導者育成事業③子ども会交歓事業 補助金の使途①加盟団体補助金交付②子ども会役員交流会③子ども会役員講演会④市民まつり		

（単位 円）

⑨ 財務状況	①の事業にかかる補助団体予算・決算		20年度予算	19年度決算	
		歳出予算・決算額 A (B+D)		705,000	580,563
		内訳	本市補助金額B	500,000	550,000
			(うち国・都等特定財源合計) C		
			その他財源D	205,000	30,563
		補助金と事業費の割合 (%) E B/A		70.9%	94.7%
		歳入決算(見込み)繰越金 F			159,700
		繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		0.0%	29.0%
積立金現在高 H		140,399	140,399		

今後の方向性 (主管部課意見)	<p>高度経済成長の後、価値観の多様化や少子化などにより、市内の子ども会の数は減少傾向にあり、また、子ども会育成者連絡協議会の活動も、加盟率の低下や実働役員の不足等により縮小されている。</p> <p>一方、子どもたちの安全を確保し、教育環境を整えるために、「家庭・学校・地域の連携・協力」が求められている今、子ども会活動は、地域活動の柱として大いに期待されている。今後は、子ども会活動の活性化に向けて、従来の子ども会育成者連絡協議会の活動を見直しながら、事業を継続していくことが必要である。</p>
--------------------	--



## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.47

① 補助事業名	研究団体育成事業	② 団体名	鈴木ばやし保存会
③ 主管部課	教育部生涯学習推進課	④ 補助開始年	昭和 53年
⑤ 経過年数	30年	⑥ 団体の 構成員数	272人+2団体
⑦ 補助団体の 活動内容	小平市鈴木ばやし保存会は、市指定無形民俗文化財である「鈴木ばやし」の保存・継承を図る目的で結成された団体です。 活動としては、後継者の育成、鈴木ばやしの復元・舞の研究、定期演奏会、祭礼等での演奏会を行っている。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	1 後継者育成事業 2 お道具の購入・修理		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		①	歳出予算・決算額 A (B+D)	412, 000
⑨ 財務状況	内訳	本市補助金額B	52, 250	52, 250
		（うち国・都 等特定財源合 計）C		
		その他財源D	359, 750	445, 866
	補助金と事業費の割合 (%) E B/A		12. 7%	10. 5%
歳入決算（見込み）繰越 金 F		38, 897	164, 357	
繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		74. 4%	314. 6%	
積立金現在高 H		1, 131, 495	1, 081, 495	

今後の方向性 (主管部課意見)	小平市第三次長期総合計画の中でも「鈴木ばやし」の保存・継承を図ることが基本方針として掲げられており、今後も保存団体である保存会の役割は重要である。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.48

① 補助事業名	研究団体育成事業	② 団体名	郷土研究会
③ 主管部課	教育部生涯学習推進課	④ 補助開始年	昭和 53年
⑤ 経過年数	30年	⑥ 団体の 構成員数	68人
⑦ 補助団体の 活動内容	小平郷土研究会は次の6つの部会があり、それぞれ次の活動を行っている。 ・郷土史部会 : 古文書の研究 ・KKV部会 : 小平の生活・文化のVTRの編集・整理 ・拓本部会 : 石碑・石仏の拓本採拓及び整理 ・食文化部会 : 手打ちうどん作りなどに講師派遣 ・民具部会 : 民具の調査・研究 ・小平ふるさと物語部会 : 小平の昔話の調査・収集・記録		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	1 各部会の活動費      2 博物館めぐりの事業費      3 事務費		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		①の事業にかかる補助団体予算・決算	歳出予算・決算額 A (B+D)	309,000
⑨ 財務状況	内訳	本市補助金額B	125,400	125,400
		（うち国・都等特定財源合計）C		
		その他財源D	183,600	125,749
	補助金と事業費の割合 (%) E B/A	40.6%	49.9%	
	歳入決算（見込み）繰越金 F	86,131	59,328	
	繰越金と補助金の割合 (%) G F/B	68.7%	47.3%	
	積立金現在高 H	666,250	666,250	

今後の方向性 (主管部課意見)	地域の歴史・文化に対する関心が高まるなか、郷土研究会の行ってきた活動及び成果は大変貴重である。最近、会員の高齢化やそれに伴う会員数の減少といった問題もあるが、市で対応できない部分での活動を行っており、今後も活動の継続が必要である。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.49

① 補助事業名	（社会体育振興に伴う社会体育事業） 社会体育関係団体事業補助	② 団体名	小平市体育協会
③ 主管部課	教育部体育課	④ 補助開始年	昭和 53年
⑤ 経過年数	30年	⑥ 団体の 構成員数	32団体
⑦ 補助団体の 活動内容	スポーツに関する32団体で構成される団体で、年5回の常任理事会・理事会を開催を通じて市民体育祭行事をはじめとして各種のスポーツ教室、競技大会の企画・運営を行う。またそれらに関する運営連絡調整や、体育協会の宿泊研修会や一日研修を実施し加盟団体間の交流や意見交換を行いながら組織強化を図っている。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	1 加盟団体育成費補助（体育協会への補助金1加盟団体92,000円のうち、75,000円を団体育成費として各加盟団体へ補助している） 2 各種大会選手派遣費補助 3 全国大会選手派遣費補助 平成20年度については、小平市体育協会創立50周年にあたり周年記念事業補助金として100万円が単年度措置されている。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算
		① の 事業 にか かる 補助 団体 予算 ・ 決算	歳出予算・決算額 A (B+D)
内 訳	本市補助金額B	4,036,000	3,036,000
	（うち国・都 等特定財源合 計）C		
	その他財源D	6,414,000	5,574,690
補助金と事業費の割合 (%) E B/A		38.6%	35.3%
歳入決算（見込み）繰越 金 F		512,866	909,657
繰越金と補助金の割合 (%) G F/B		12.7%	30.0%
積立金現在高 H		3,755,999	3,755,999

今後の方向性 (主管部課意見)	小平市体育協会は昭和34年わずか5団体で設立、平成20年度創立50周年を迎えるなかで加盟32団体を有する大所帯に発展してきた。しかしながら加盟団体の中には活動経験や経済力が必ずしも豊かな団体とは限らず、第三者の援助を必要とする組織も存在する。また、未組織競技団体等の将来的な支援対策としても重要な補助事業として欠かせないものと認識している。
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.50

① 補助事業名	社会体育振興に伴う社会体育事業 各種大会選手派遣補助事業	② 団体名	小平市体育協会
③ 主管部課	教育部体育課	④ 補助開始年	昭和 53年
⑤ 経過年数	30年	⑥ 団体の 構成員数	32団体
⑦ 補助団体の 活動内容	都民体育大会及び東京都市町村総合体育大会にかかる出場参加選手への選手派遣費補助として、一人当たり1回1,700円を補助している。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	<平成19年度における選手派遣費補助実績> ① 第60回都民体育大会 選手派遣費補助 532,930円 ② 第41回東京都市町村総合体育大会 選手派遣費補助 365,600円		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		①	歳出予算・決算額 A (B+D)	900,000
⑨ 財務状況	内訳	本市補助金額B	900,000	898,530
		（うち国・都 等特定財源合 計）C		
		その他財源D		
	補助金と事業費の割合 （%） E B/A	100.0%	100.0%	
	歳入決算（見込み）繰越 金 F	0		
	繰越金と補助金の割合 （%） G F/B	0.0%	0.0%	
	積立金現在高 H	0	0	

今後の方向性 （主管部課意見）	「小平市郷土の誇り」を背負いながら市民を代表して出場する選手の支援策として、選手の活動（旅費）資金の一部を助成することで、選手の自己負担を徹底的に軽減することができれば経済的な援助として利点はある。 そのような支援が幅広い市民の参加意識の高揚につながり、市民スポーツの振興に大きな効果をもたらすと期待している。
--------------------	--

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.50-1

① 補助事業名	（社会体育振興に伴う社会体育事業） 全国大会派遣補助事業	② 団体名	小平市体育協会
③ 主管部課	教育部体育課	④ 補助開始年	昭和 53年
⑤ 経過年数	30年	⑥ 団体の 構成員数	32団体
⑦ 補助団体の 活動内容	全国大会出場選手及び役員の派遣にかかる経費のうち、交通費、宿泊関係費用の一部を補助する。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	<平成19年度における選手派遣費補助実績> 第23回若葉カップ全国小学生バドミントン大会出場選手派遣費補助 100,000円		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		①	歳出予算・決算額 A (B+D)	200,000
⑨ 財務状況	内訳	本市補助金額B	200,000	100,000
		（うち国・都 等特定財源合 計）C		
		その他財源D		
	補助金と事業費の割合 （%） E B/A		100.0%	100.0%
歳入決算（見込み）繰越 金 F		0	0	
繰越金と補助金の割合 （%） G F/B		0.0%	0.0%	
積立金現在高 H		0	0	

今後の方向性 （主管部課意見）	近年、小平市民のスポーツ界における競技力に著しい向上が見られ、全国レベルの大会出場のみならず、戦績面においてもトップレベルの実績を築いており。地元出身のオリンピック選手輩出も目立つ中で、選手活動を支援する視点からは全市民的な補助対象事業ではないが必要性のある補助事業と認識している。
--------------------	---

## 小平市補助金評価票 甲（団体用）A

No.51

① 補助事業名	子ども文庫連絡協議会補助事業 子ども文庫連絡協議会補助金	② 団体名	子ども文庫連絡協議会
③ 主管部課	中央図書館	④ 補助開始年	昭和 50 年
⑤ 経過年数	33 年	⑥ 団体の 構成員数	50 人
⑦ 補助団体の 活動内容	よい本の普及、子どもの本の研究を通して、心豊かな子どもを育てることを目的とし、以下の活動を行っている。 1 多くの子どもがよい本に親しむ場をつくる。 2 各文庫の自主的な活動を促進するため、図書館と協力して、購入図書を選定及び貸出を行う。 3 学習会、講演会、交流会、「子ども文庫しんぶん」の発行、文集「あゆみ」の発行、図書館研究等を行う。		
⑧ 補助事業の内容と 補助金の使途	おはなし会の実施。選本の会の実施。学習会、講演会の実施。各文庫の交流会の実施。「小平子ども文庫しんぶん」の発行。 文集「あゆみ」の発行。		

（単位 円）

		20年度予算	19年度決算	
		① の 事 業 に か か る 補 助 団 体 予 算 ・ 決 算	歳出予算・決算額 A (B+D)	330,832
⑨ 財 務 状 況	内 訳	本市補助金額B	285,000	285,000
		（うち国・都 等特定財源合 計）C		
		その他財源D	45,832	47,723
	補助金と事業費の割合 （%） E B/A	86.1%	85.7%	
	歳入決算（見込み）繰越 金 F	832	692	
	繰越金と補助金の割合 （%） G F/B	0.3%	0.2%	
	積立金現在高 H	0	0	

今後の方向性 （主管部課意見）	子どもの読書離れが指摘されている現在、子どもたちに魅力ある本を普及するためにも市が団体を補助金という形でバックアップしていくことは必要である。
--------------------	---